



ヒヨドリ

梅の花や香りは人を惹きつけ、そして樹形も庭木や盆栽などに用いられ、鑑賞の対象とされたり果実は食用にもなります。原産地は中国で日本には遣唐使によって持ち込まれたとされています。

「飛梅伝説」とは平安時代に菅原道真が朝廷内の政争に敗れ九州大宰府に左遷されることになりました。道真は梅の木をとりわけ愛でてきたといえます。そして梅は一夜のうちに大宰府まで飛んでゆきその地に降り立ったといえます。道真が京の都を去る時に詠んだ和歌が「東風吹かばにほひをこせよ梅の花、主なしとして春を忘るな」です。



## 今、ふれあいの村では・・・

底冷えする寒さが続いています。よく晴れた朝方は霜柱日中で、踏むとサクサクと心地よい音が楽しいですね。

◆日影の地表近くに艶やかな赤い実を見つけました。「フユイチゴ」です。キイチゴの仲間としては珍しく冬に実が熟するため「クリスマスチェリー」の別名があります。小粒な果実ですが甘酸っぱく美味です。周辺を探しましたがほとんどなく、野生動物にも大変人気のおようです。

◆もう一つ美しい赤い果実を実らせた植物を見つけました。「マンリョウ」です。名前がめでたいので、お正月の縁起物としても知られています。

花言葉も「寿ぎ」「財産」などお正月に関連したものとなっています。



フユイチゴ



マンリョウ



ウバユリ



ミツマタ



テイカカズラ種子



ジャノヒゲ

二月九日〜十三日

立春を過ぎたら待たれるのはウグイスの声。昔の人々は季節を告げる最初の一声「初音」を何よりも大事にしました。

「ウグイスの初鳴日」として気象庁では桜や梅の開花と共に観測しています。

ウグイスの異名として最もよく知られているのは「春告鳥（はるつげどり）」で、そのさえずりは単なる美しい音色ではなく一気に心が弾み春の喜びを感じさせてくれるものです。

尚、オオルリ、コマドリと並んで「日本三鳴鳥」に選ばれています。



## ★フィールドワーク★

野外を探検・調査・観察することをフィールドワークといいます。



イカル



ヤマガラ



シカ食痕



シカ足跡

落葉樹の木々は葉を落とし、常緑樹の葉が目立つ季節です。早くも杉は花粉を蓄えており、花粉症の筆者には悩ましい季節がそろそろやってきます。

◆木立の中に黄色い大きなくちばしをもった鳥を見つけました。「イカル」です。大きな太い黄色のくちばしで堅い木の実や草の実をくだいて餌にしています。「鶇」と書きますが、くちばしがツノのように力強いことが由来しています。

◆オレンジ色のお腹が目印の「ヤマガラ」をよく見かけます。初夏に見られる幼鳥はこのオレンジ色が無いのでほかの鳥と見間違えることが多いようです。動物が食物を隠して貯えることを「貯食」といいますが、エゴノキやスタジイなどの木の実をヤマガラは貯食しています。ヤマガラの貯食行動は足柄ふれあいの村の豊かな森づくりにも貢献してくれているのでしょうか。

## 【イベントのご紹介】

※お問合せは、足柄ふれあいの村に電話（0465-72-2010）されるか、『足柄ふれあいの村』のホームページにアクセスしてください。

※今後、変更等がある可能性がありますので『足柄ふれあいの村』のホームページを随時ご確認ください。

## 「あしがらファミリーキャンプ②」のご案内

冬の足柄で家族キャンプ！

エネルギーあふれる大自然の中、家族で自然散策やみんなで協力して野外炊事など様々な体験を楽しむ2日間です。

実施日 令和7年3月15日（土）～16日（日）【1泊2日】

会場 足柄ふれあいの村

対象 家族・親子

定員 60人

参加費 中学生以上：7,800円 / 3歳以上～小学生：5,900円

申込期間 令和7年1月5日（日）～令和7年2月7日（金）

## ★来月のファミリーコミュニケーションの日：3月2日（日）

10:00～12:00《自然観察会》私の春一番をマがしに行こう！（参加費無料）

13:00～15:00《チョーク絵》元気な子どもの姿を描いてみよう（初回250円）

※ファミリーコミュニケーション運動の一環として、毎月、第一日曜日に開催中です。※申込み・問合せは電話などでお気軽にどうぞ。

神奈川県立足柄ふれあいの村（南足柄市広町1507）

電話：0465-72-2010 F A X：0465-72-2013

指定管理者：株式会社アグサ（連携協力：関東学院大学）

所管課：神奈川県教育委員会教育局支援部 子ども教育支援課

U R L：http://www.ashigara-fureai.com/